



民生委員・児童委員  
シンボルマーク

# いずも 民児協だより

出雲市民生委員児童委員協議会

第33号 令和8年(2026年)3月19日発行



出雲市長から民生委員・児童委員委嘱状を受け取る廣戸悦子会長(前列中央)と主任児童委員指名状を受け取る馬庭光子副会長



「誰かのために」と題して講演する  
川谷吉正前会長

民生委員・児童委員及び  
主任児童委員感謝状・  
委嘱状伝達式

## 地域の中で福祉活動を担う 民生委員・児童委員、主任児童委員

会長 廣戸 悦子

令和7年12月、3年ごとの民生委員・児童委員の任期満了に伴い、改選が行われました。12月17日には、退任された民生委員・児童委員、主任児童委員への感謝状伝達式が開催されました。これまで地域住民の皆さんに寄り添い、相談相手となってこられたことに、ともに歩んできた一人として、心よりお礼申しあげます。

また、新任及び再任された民生委員・児童委員、主任児童委員への委嘱状伝達式も併せて開催されました。新たな仲間とともに私たちは、地域住民の皆さんと、地域における数々の福祉課題に取り組む、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを目指していきます。

民生委員・児童委員、主任児童委員は、それぞれの地域で活動しています。そして、地区ごとに民生委員児童委員協議会があり、さらには出雲市全体の民生委員児童委員協議会があります。私は、12月1日より出雲市民生委員児童委員協議会の会長という大役を受けることになりました。地域の皆さんの暮らしやすさを求めるとともに、民生委員・児童委員、主任児童委員が活動しやすい組織となるように努めたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

こんにちは

## 灘分地区の主任児童委員です。

灘分地区は、令和7年12月末現在、1,139世帯、人口3,111人です。  
主任児童委員2名、民生委員・児童委員6名の計8名でボランティアの方と協力して、子どもたちの健やかな成長を願って活動しています。

### 朝の挨拶運動

毎月第一登校日の朝、小学校正門に立ちます。休日明けのまだすっきりしない、眠そうな様子の子どもも見かけますが、大きな声で挨拶をする子どもたちに今日も元気で過ごせるようにと「いってらっしゃい」と声をかけています。全国交通安全運動や学期のはじめにもPTA・交通安全委員、青少協・自治協会とともに見守りながら挨拶運動をしています。



### 赤ちゃん声かけ訪問

ここ数年出生数が20名を割る状況が続いております。訪問して赤ちゃんがとても嬉しそうに声を出して笑う顔を見たり、赤ちゃんと一緒におしゃべりをしたり、くすぐって笑ってもらったりとこちらも一緒に笑顔になります。「赤ちゃんとのこうした関わりは、大人の育児に対する意欲や他の人とのコミュニケーション能力を高めめますね」とお母さんに話を添って話をしていきます。



### クリスマス会

年一回のクリスマス会では、工作や歌、絵本の読み聞かせなどで、楽しい時間を過ごしています。昨年のクリスマス会は「シルエット2006」の皆さんによるかけ絵劇を楽しみました。60人を超える親子が集まり、シルエットに合わせて歌を歌い、手拍子、かけ声をかけたりして楽しく過ごすことができました。また来年も来たい、サンタさんに会いたいと期待して、帰路につく子どもたちもいました。

他 絵本の読み聞かせ、世代間交流の餅つき、青色パトロールも行っています。

いろいろな子どもたちとの活動を行っています。灘分の子どもたちが、家の人にも、友達にも、地域の人にも思いやりを持った優しい人に成長して欲しいと願っております。



### 放課後子ども教室

農業の盛んな灘分町から「青田教室」という名前の放課後子ども教室を令和6年度から開きました。毎週火曜日の午後と学校の行事など早く下校するときに、地区ボランティアの方たちとともに、灘分コミュニティセンターでバス待ちの子どもの学習、遊びの見守りをしています。



## 出雲市民生委員児童委員協議会

事務局 / 〒693-0001 島根県出雲市今市町543  
出雲市社会福祉センター内  
電話 / (0853) 23-3781

### 編集委員

- 後藤 京子(乙立) ● 高橋 勇二(神門) ● 小村 伸治(神西)
- 玉木 優子(佐香) ● 山崎 智子(伊野) ● 明正 美喜子(大社)
- 原 正三(出西) ● 三原 順子(湖陵)

地区活動  
紹介

『支えあう 住みよい社会 地域から』

をスローガンに、地域のボランティアで活動しています。

古志地区

子ども食堂  
運営に参画

世帯数 861世帯  
人口 2,035人  
委員数 6人



子ども食堂の開設について古志地区社会福祉協議会と協議し、子ども食堂の企画・運営を行う「古志すまいる食堂運営委員会」を立ちあげました。

神原地区

地域での高齢者との交流及び支援の取組

世帯数 536世帯  
人口 1,437人  
委員数 8人



今年、JAやすらぎ会との協賛により、神原交流センターで人暮らし高齢者との交流会を開催しました。午前中は、稗原駐在所の布野巡査部長より特殊詐欺に注意するように、特に携帯電話にプラス（土）から始まる番号の着信には出ないよう、と指導を受けました。厚食には、やすらぎ会の皆さんにカレーライスを作ってください、民生委員・児童委員、やすらぎ会の皆さんと



一緒に食べながら交流を図り、食後には朝山地区の渡部さんのアコーディオン演奏で、昔の懐かしい歌をみんなで歌い、楽しいひと時を過ごすことができました。今後、機会があれば地域ぐるみの交流会を開催したいと思います。そして、毎年、75歳以上の一人暮らし高齢者支援として、稗原地区社会福祉協議会で準備されたお米等のプレゼントを民生委員・児童委員に委託され、12月の見守り訪問活動の折にお届けをしています。近年、一人暮らし高齢者が増加しており、地域での更なる支援が必要になると思われれます。

伊野地区

めくもりのある  
伊野の郷づくり

世帯数 400世帯  
人口 1,071人  
委員数 5人

今回は伊野地区の3つの取り組みについて紹介します。

まず、小学校1年生の訪問活動です。担当区域の民生委員・児童委員と主任児童委員の2名で訪問し、お祝い品を渡すとともに、会話を通じ気軽に相談してもらえ環境づくりに繋がっています。

次に、更生保護女性部との共催による小学校卒業生を送る会として行う、「いが餅づくり」です。いが餅と



は、古くから地区内で作られていた伝統食と言えるものです。卒業生と委員・委員が一緒になって粉を練り、餡を入れて丸めた餅を花や果物などの形で飾り、型で成型し蒸しあげて完成です。出来あがった、いが餅を皆で食べながら卒業生は、珍しい伝統食を記憶に留めるとともに地域との繋がりを感じたことと思います。

3つ目は伊野地区社会福祉協議会との共催によるさざえあいマップづくりです。民生委員・児童委員の担当区域ごとに福祉委員とともに、見守りが必要と思われる住民のリストアップを行い、見守り活動に繋がっています。

久木地区

安心安全な  
まちづくりを  
めざして

世帯数 837世帯  
人口 2,373人  
委員数 6人

あいさつ見守り活動

月初めの朝、地区内の児童が通う小学校の入口付近に立って、登校して来る児童の皆さんとあいさつを交わす見守り活動をしています。

上級生が先頭に立って、グループを率いての集団登校です。上級生と新入生では、随分と体格の差があるのに、皆まとまって登校しています。

児童一人ひとりに、今日も、元気に頑張つて！との想いを込めて、あいさつを交わしていると、逆に私たちが元気ももらっています。



危険個所の点検

久木地区民生委員児童委員協議会は年1回、久木地区青少年育成協議会とともに安心安全を確保するために危険個所の点検を実施しています。実施場所は主に通学路を中心に、河川やポンプ場、排水機場の遊水池等です。

通学路では横断歩道等の白線が消えかけている所や歩道の状態を、また、河川では防護柵の有無等を点検しています。

昨年度は、点検結果を受けて、中部小学校前に転落防護柵を設置して戴き喜んでいきます。

